

株主・投資家とともに

野村不動産グループは、野村不動産ホールディングス内に広報IR部を設置し、積極的なコミュニケーションと正確・適時・公平な情報開示を行うことにより、経営戦略や財務状況に関する理解促進と株主・投資家の皆さまとの信頼構築に努めています。

2011年度活動トピックス

2011年度は、個人投資家の皆さまに向けて、決算説明会資料や株主総会の動画をWebにて配信するなどIRサイトの拡充を行いました。また、弊社取締役社長が機関投資家の皆さまと直接対話を行うことを目的としたスモールミーティングを積極的に実施しました。

IRコミュニケーション

野村不動産グループでは、野村不動産ホールディングスに広報IR部を設置し、個人株主や国内外の機関投資家および証券アナリストの皆さまの理解促進と信頼構築に努めています。

金融商品取引法などの関連法令および東京証券取引所の定める適時開示規則を遵守するだけでなく、Webサイトや決算説明会などを通じて積極的に情報を開示し、市場関係者とのコミュニケーションを推進しています。



株主・投資家向けWeb画面

決算説明会

第2四半期末および決算期末の決算発表後、投資家やアナリストを対象とした決算説明会を開催し、取締役社長およびIR担当取締役が、決算説明および質疑応答を行っています。

個別ミーティング

機関投資家・アナリストなどを個別に訪問し、決算説明および質疑応答を行っています。2011年度は、延べ324回のミーティングを行いました。

また2011年度は弊社取締役社長が直接対話を行うことを目的としたスモールミーティングを3回実施しました。



スモールミーティング

海外IR

2011年度は3回の海外IRを実施し、当社グループの事業内容や成長戦略を説明しました。海外の機関投資家に対しても国内の投資家と同様にコミュニケーションを図り、説明責任を果たし理解を促進することに努めています。

物件見学会の開催

国内外の機関投資家に対し、マンションやオフィスビルなどの見学会を通じて、野村不動産グループの事業内容を紹介しています。2011年度は、7回の見学会を実施しました。11月には、海外機関投資家に日本の不動産業界に対する理解を深めてもらうことを目的としたモデルルーム見学会も開催し、15名の海外機関投資家を迎えて「クラウドタワー東雲チャンネルコート」を案内しました。



機関投資家向けモデルルーム見学会

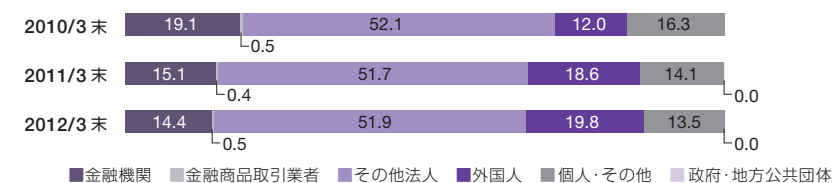
株主還元に対する基本方針

野村不動産ホールディングスは、経営環境ならびに設備投資計画などを総合的に勘案し、内部留保を考慮の上、業績に応じて利益を配分することを基本としています。また、中長期的には配当性向30%程度を目処としています。

株式データ

所有者別保有状況 (%)

※ 小数点第二位を四捨五入しています



株式の状況(2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	450,000,000株
発行済み株式総数	190,456,900株
株主数	47,930名